

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【公表番号】特表2006-507328(P2006-507328A)

【公表日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-009

【出願番号】特願2004-551940(P2004-551940)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/18 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/12 1 7 1

C 0 7 K 14/18

C 0 7 K 16/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月7日(2006.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a)配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチド;

b)別のフラビウイルス由来の配列番号:1から配列番号:36のいずれかひとつと相同な配列を有するペプチド;及び

c)配列番号:1から配列番号:36のいずれかひとつと機能的に同等なペプチドであり、ここで機能的に同等なペプチドは、1個又は複数のアミノ酸残基が相同なアミノ酸と置換され、機能的にサイレントな変化を生じているか、もしくは1個又は複数のアミノ酸が欠失されていることを除き、配列番号:1から配列番号:36の少なくとも1種と同一である、ペプチド;

からなる群より選択される、1種又は複数のペプチドを含有する医薬組成物。

【請求項2】

a)配列番号:1から配列番号:36の1種又は複数のアミノ酸配列を有するペプチドであり、ここでN-末端アミノ酸残基はN-末端アミノ基を含み、及びC-末端アミノ酸残基はC-末端カルボキシル基を含む、ペプチド;

b)配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチドであり、ここでペプチドのN-末端化学部分はアミノ基でなく、及び/又はペプチドのC-末端化学部分はカルボキシル基でなく、ここでN-末端化学部分は、アセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、もしくは高分子キャリア基からなる群より選択され、及び/又はここでC-末端化学部分は、アミド基、疎水基、t-ブチルオキシカル

ボニル基もしくは高分子基からなる群より選択される、ペプチド；

c)配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチドであり、ここで隣接アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は、非-ペプチド結合である、ペプチド；

d)配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチドであり、ここで少なくとも1個のアミノ酸残基は、D-異性体立体配置である、ペプチド；

e)少なくとも1個のアミノ酸が、異なるアミノ酸により置換されている以外は、「a)」又は「b)」の部分のペプチド；又は

f)配列番号:1から配列番号:36のいずれかひとつの少なくとも3個の近接ヌクレオチドを有する、「a)」から「e)」の部分のいずれかに示されたペプチドの機能断片；

の1種又は複数から選択された少なくとも1種のペプチドを含有する、医薬組成物。

【請求項3】

ペプチドが、配列番号:1、2、3及び4からなる群の1種又は複数より選択される、請求項2記載の組成物。

【請求項4】

N-末端化学部分はアセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、又は高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、疎水基、t-ブチルオキシカルボニル基又は高分子基である、請求項3記載の組成物。

【請求項5】

N-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基である、請求項3記載の組成物。

【請求項6】

ペプチドにおいて隣接アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は、イミド結合、エステル結合、ヒドラジン結合、セミカルバゾイド結合及びアゾ結合からなる群より選択される、非-ペプチド結合である、請求項3記載の組成物。

【請求項7】

少なくとも1個のアミノ酸は、D-異性体アミノ酸である、請求項3記載の組成物。

【請求項8】

N-末端化学部分はアミノ基であり、及びC-末端化学部分はカルボキシル基である、請求項3記載の組成物。

【請求項9】

ペプチドは、配列番号:5、13、21、及び29からなる群の1種又は複数より選択される、請求項2記載の組成物。

【請求項10】

N-末端化学部分は、アセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、もしくは高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、疎水基、t-ブチルオキシカルボニル基もしくは高分子基である、請求項9記載の組成物。

【請求項11】

N-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基である、請求項9記載の組成物。

【請求項12】

ペプチドにおいて隣接アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は、イミド結合、エステル結合、ヒドラジン結合、セミカルバゾイド結合及びアゾ結合からなる群より選択される、非-ペプチド結合である、請求項9記載の組成物。

【請求項13】

少なくとも1個のアミノ酸は、D-異性体アミノ酸である、請求項9記載の組成物。

【請求項 14】

N-末端化学部分はアミノ基であり、及びC-末端化学部分はカルボキシル基である、請求項9記載の組成物。

【請求項 15】

ペプチドは、配列番号:6-9、14-17、22-25、及び30-33からなる群の1種又は複数より選択される、請求項2記載の組成物。

【請求項 16】

N-末端化学部分は、アセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、もしくは高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、疎水基、t-ブチルオキシカルボニル基もしくは高分子基である、請求項15記載の組成物。

【請求項 17】

N-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基である、請求項15記載の組成物。

【請求項 18】

ペプチドにおいて隣接アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は、イミド結合、エステル結合、ヒドラジン結合、セミカルバゾイド結合及びアゾ結合からなる群より選択される、非-ペプチド結合である、請求項15記載の組成物。

【請求項 19】

少なくとも1個のアミノ酸は、D-異性体アミノ酸である、請求項15記載の組成物。

【請求項 20】

N-末端化学部分はアミノ基であり、及びC-末端化学部分はカルボキシル基である、請求項15記載の組成物。

【請求項 21】

ペプチドは、配列番号:10-12、18-20、26-28、及び34-36からなる群の1種又は複数より選択される、請求項2記載の組成物。

【請求項 22】

N-末端化学部分は、アセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、もしくは高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、疎水基、t-ブチルオキシカルボニル基もしくは高分子基である、請求項21記載の組成物。

【請求項 23】

N-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基であり；及び/又は、C-末端化学部分は、脂質複合体、ポリエチレングリコール、もしくは炭水化物から選択される高分子キャリア基である、請求項21記載の組成物。

【請求項 24】

ペプチドにおいて隣接アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は、イミド結合、エステル結合、ヒドラジン結合、セミカルバゾイド結合及びアゾ結合からなる群より選択される、非-ペプチド結合である、請求項21記載の組成物。

【請求項 25】

少なくとも1個のアミノ酸は、D-異性体アミノ酸である、請求項21記載の組成物。

【請求項 26】

N-末端化学部分はアミノ基であり、及びC-末端化学部分はカルボキシル基である、請求項21記載の組成物。

【請求項 27】

請求項1又は2に記載の医薬組成物の有効量を非ヒト患者へ投与することを含む、フラビウイルス感染症を治療又は予防する方法。

【請求項 28】

請求項1又は2に記載のペプチドに特異的な、実質的に精製された抗体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明のこの態様の様々な局面は、下記から選択された1種又は複数のペプチドを含有する組成物を提供する：

A) 配列番号:1から配列番号:36の1種又は複数のアミノ酸配列を有するペプチドであり、ここでN-末端化学部分（以下、"X"とも称する）はアミノ基であり、及びC-末端化学部分（以下、"Z"とも称する）はカルボキシル基であるもの；

B) 配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチドであり、ここでN-末端化学部分はアミノ基ではなく、及び／又はC-末端化学部分はカルボキシル基でなく、ここでN-末端化学部分は、アセチル基、疎水基、カルボベンゾキシル基、ダンシル基、t-ブチルオキシカルボニル基、又は高分子キャリア基からなる群より選択され、及び／又はここでC-末端化学部分は、アミド基、疎水基、t-ブチルオキシカルボニル基又は高分子基からなる群より選択されるもの；

C) 隣接（adjacent）アミノ酸残基を連結する少なくとも1個の結合は非-ペプチド結合であることを除き、配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチド；

D) 少なくとも1個のアミノ酸残基は、D-異性体立体配置であることを除き、配列番号:1から配列番号:36のいずれかの配列を有するペプチド；

E) 少なくとも1個のアミノ酸は、異なるアミノ酸により置換されている（保存的又は非-保存的变化のいずれか）ことを除き、群「A）」又は「B）」のようなペプチド；

F) ペプチドは、配列番号:1から配列番号:36のいずれかひとつの少なくとも3個の近接ヌクレオチドを有する、先の群「A）」から「E）」のいずれかに示したようなペプチドの機能断片であるペプチド。